



駒本の力

駒本小学校(家)
教育活動紹介便り
校長 田中 克昌
NO. 7
平成 27 年 7 月 15

ニコニコ言葉の一行詩

6月は都の「ふれあい月間」でした。そこで本校では、「ニコニコ言葉の一行詩」にチャレンジしました。下の囲みは子どもたちに示したものです。その下は子どもたちの作品です。素敵なお作品ばかりで、今回は選定にとっても苦労しました。相手の心も自分の心も温かくなる言葉、それがニコニコ言葉です。ニコニコ言葉をたくさん遣える子どもたちを育てていきたいものです。

言葉ってとても大切です。千ク千クした言葉をいえば、けんかになったり、いやなきもちになってしまいます。でも、ニコニコした言葉を言うと、えがおになったり、心があたたかくなります。みんながニコニコできる「ニコニコ言葉の一行詩」にチャレンジしましょう。ニコニコ言葉だけでもオッケー。一行詩にするとすばらしい。

【1年生】

- ・だいじょうぶ、わらって。 ・しっばいしてもいいからがんばろうね。
- ・ともだちが「いっしょにあそぼう」っていってくれました。うれしかったです。
- ・いっしょにいるとたのしいな。 ・きみとはなすとたのしいよ。

【2年生】

- ・こまっている時、なやみごとがあつたらなんでもいいから、すぐに話してね。
- ・えがおがおひさまのようにすてきだよ。
- ・きみのすごくやさしいところ大好きだよ。
- ・一人じゃできないよ。みんながいるからできるんだよ。
- ・こまったことやいやなことや分からないことがあつたら、なんでも言ってね。
- ・きみのえがおすてきだね。ぼくもそんなえがおになりたいな。
- ・「ありがとう」と言われて。「どういたしまして」と言ったよ。
- ・「いつもみまもってるよ。」と言われたらいいね。
- ・みんなの力を合わせればできるよ。がんばろう。
- ・「ずっと友だちだよ」と言われると うれしいです。

【3年生】

- ・こまっているときは、ぼくをよんで。かならずたすけに行くからね。
- ・「いつもがんばっている事すごいと思うよ。」と言われた。心があたたかくなった。
- ・一輪車の空中のりができないとき、友だちが「手、かそうか？」と言ってくれた。気持ちが温かくなった。
- ・ありがとう、大丈夫、ぜったいできるよ、がんばって、おうえんしてるよなど、心が温

かくなるまほうの言葉。チクチク言葉はいけないよ。

- ・けがした時、まわりの子が来て、大丈夫？と言ってくれて、なんだか痛いふっとんだ。
- ・こまっている時、ぼくにまかせてぼくが手伝うよ。

【4年生】

- ・「がんばれー」おうえんしてくれて、ありがとう。
- ・「ありがとう」「どういたしまして」ニコニコ言葉のキャッチボール。
- ・また会おうね。さようなら。ちょっぴりさみしいけど、ちょっぴりうれしい。
- ・泣いている時、友だちが「大丈夫だよ」となぐさめてくれた。私は「今度はがんばろう！」と思った。
- ・「ありがとう」そう言われるとうれしくなる。もっとみんなにありがとうを言いたい。
- ・「友達だよ」その言葉を聞いてはっとした。私はそのかけがえのない言葉を聞くために、生きていて、これからもそう生きようと思った。

【5年生】

- ・失敗しても、みんなでいっしょにやれば、必ず成功するよ。
- ・困っている時にはるんるん楽しく前向きに行こうね。
- ・ころんで歩けなくなった時、友達が「手をかしてあげる」と言ってくれた。ぼくは歩こうと思った。
- ・一人が笑うとみんなも笑う、それは笑顔のコーラスだ。
- ・心のとびら開こうよ。きっとすてきな言葉の木ができるよ。
- ・友達をたすけてあげた。友達はありがとうとかえしてくれて、とてもうれしく感じたよ。

【6年生】

- ・うれしいことがあった時、友だちがやったねと言ってくれた。友だちがよろこんでいる時、いっしょによろこぼうと思った。
- ・悲しい時、いやな時でも君といると心があつたかくなるよ。いつもありがとう。
- ・班の一年生が通りかかるたびに、「あ、班長」と言ってくれる。うれしかった。
- ・クラスメートが休みの日、学校であったことを話しに行ったら、「ありがとう」と言われてとてもうれしくなった。
- ・「ありがとうね」「大丈夫だよ」たった一言で世界がぱっと広がったんだ。
- ・「がんばって」この五文字が私の背中をやさしく押してくれる。やる気がでたよ。

心がやさしくあれば、言葉もやさしい

言葉遣いの乱れは、近年その傾向を強め、学校においても大きな課題となっています。子どもたちに、丁寧で優しい言葉遣いの大切さを指導するときには使うのがこの言葉です。逆説的に言うと、言葉が荒れている時は、心も荒れている時です。言葉が荒れている時は、自尊感情や自己肯定感が下がっていることが多いようです。つまり心がトゲトゲとして苛立っている状態ですね。自尊感情については、それを充足させるのは家庭の役割です。子どもたちの言葉遣いが乱れている時、子どもたちの自尊感情の状態はどうなのか、もう一度家庭でも見直していただくと幸いです。